

小牧市図書館業務委託プロポーザル実施結果

小牧市図書館業務委託プロポーザル審査委員会を設置し、審査を行った結果、最優秀者として、株式会社図書館流通センターを選定した。

1. 審査結果

最優秀者	株式会社図書館流通センター 代表取締役 谷一 文子
------	------------------------------

2. 審査日程

項目	日程
実施要綱等発表	令和4年9月21日(水)
参加表明書等の交付	令和4年9月21日(水)から
質疑受付	令和4年9月21日(水)から 令和4年10月5日(水)まで
質疑の回答	令和4年10月14日(金)
参加表明書等の提出期限	令和4年11月14日(月)
審査(プレゼンテーション、ヒアリング)	令和4年11月24日(木)
結果発表(公表・通知)	令和4年12月8日(木)

3. 審査委員会

区分	役職	氏名
委員長	教育部長	石川 徹
委員	小牧市立図書館協議会会長	家禰 淳一
委員	こども未来部長	鍛冶屋 勉
委員	教育部次長	伊藤 京子
委員	図書館長	矢本 博士

4. 評価基準

評価項目	評価事項	配点（点）
1 業務実績	業務実績	10
2 業務体制	統括責任者の配置の考え方	10
	有資格者数	
3 業務実施方針	運営基本方針	40
	利用者対応に係る方針	
	研修方針・体制	
	個人情報保護方針・体制	
	人員配置計画	
	書架整理・資料整理等の考え方	
	その他提案事項	
4 コスト	見積価格は経済的か	20
5 プレゼンテーション	業務の理解度と取組意欲、質疑応答、総合評価	20
合 計		100

5. 審査の経緯

令和4年9月21日に本件公告及び実施要項等を公表し、令和4年11月14日までに参加表明書等の提出があった1者について、審査への出席を要請した。

審査では、参加者によるプレゼンテーション及び各審査委員によるヒアリングを行った。

審査委員会では、参加者が1者であったため、各評価項目について客観的評価を行った結果を基に、参加者が業務に適した者であるかという視点で審査を行い、最優秀者として選定することとした。

6. 講評及び総評

(1) 最優秀者に対する講評

今回、最優秀者となった株式会社図書館流通センターは、全国での図書館業務の受託実績が豊富であり、業務責任者が適切に配置されていることや司書資格の割合が高いことなど業務体制が

優れていると評価された。

また、業務実施方針においては、「居心地の良い滞在型図書館」という本市が目指す図書館像に対して深い理解が見受けられ、特に利用者対応に関わる充実した人材育成・研修体制や、利用促進への取組みとして時流に即した講座開催の提案等が高く評価され、最適な者として選定に至った。

(2) 総評

本プロポーザルは、本市における図書館業務を委託するにあたり、公共図書館運営に必要な専門的能力と経験を有し、効率的で質の高いサービスを提供することが可能な事業者を選定するために実施した。

参加表明は株式会社図書館流通センターのみであったものの、その提案内容が本市図書館の目的や意義を的確に捉えた優れたものであったため、本プロポーザルの目的を十分に達成できると判断し、同社を最優秀者として選定した。

同社におかれては、受託業務を遂行するにあたり、情報発信の拠点として多様な利用者ニーズに応じた質の高い図書館サービスの提供に尽力いただくとともに、定型業務の見直し等を含め効率的な図書館運営に努められることを期待する。